

平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

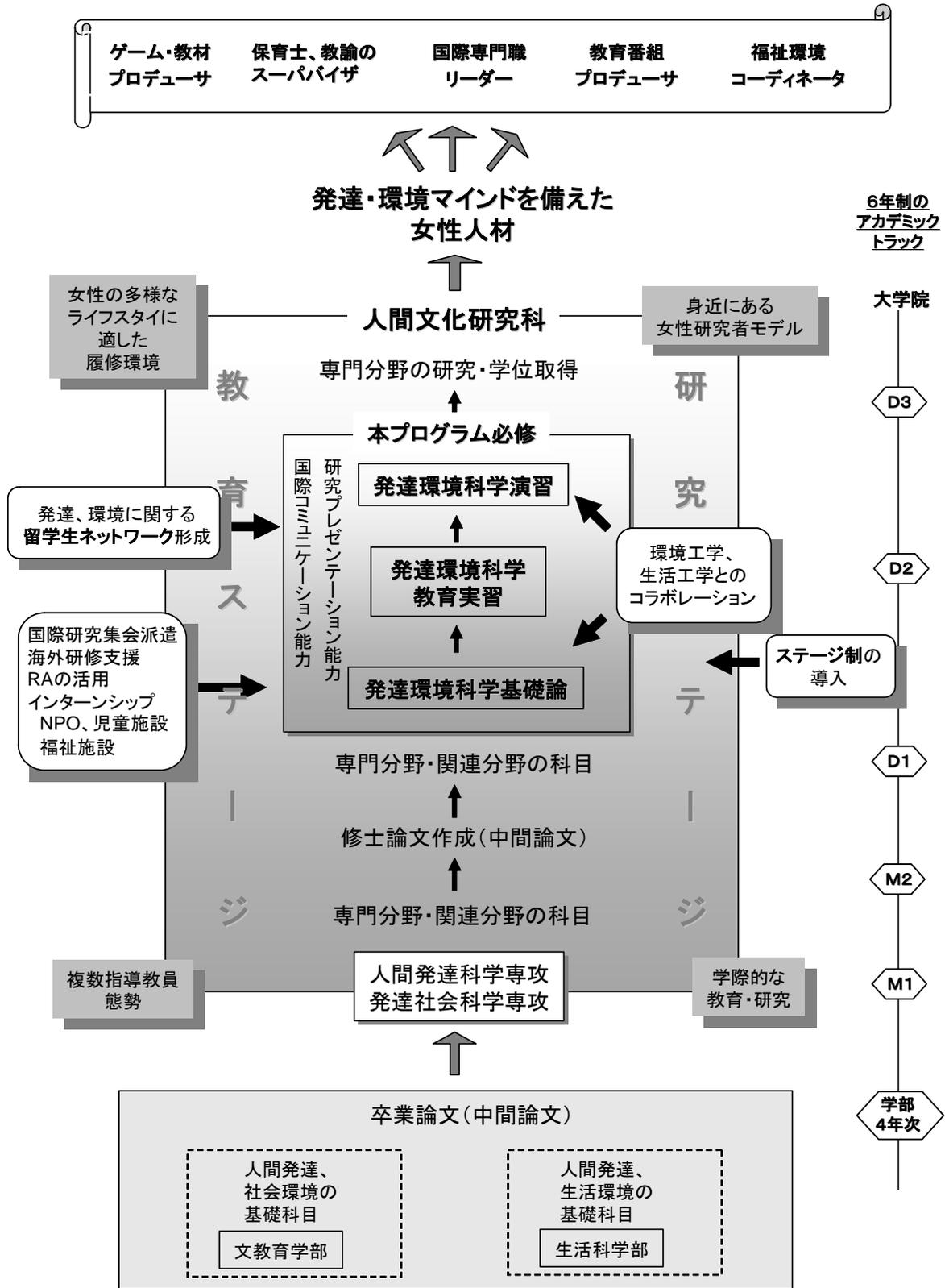
◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成18年4月現在)を抜粋

機 関 名	お茶の水女子大学	整理番号	d003
1. 申請分野(系)	人社系		
2. 教育プログラムの名称	ユニバーサルマインドをもつ女性人材の育成 (こころの発達と環境の融和プログラム)		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 心理学、教育学、社会学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (生涯発達、環境問題、社会問題、地域援助、多文化教育)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 (〔 〕書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 人間文化研究科・発達社会科学専攻[博士前期課程] 人間文化研究科・人間発達科学専攻[博士後期課程]		研究科長(取組代表者)の氏名 平野 由紀子
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像(わかりやすく、具体的に記入してください。)			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>人間が人として生きてゆく上で、最も基本的な、心身の発達と生活環境・社会環境との関わり合いの問題に関し、理解と方策を備えた女性人材を育成する教育研究プログラムを展開する。このプログラムの最大の特徴は博士前期・後期課程を通してポイント制を設け、5年間の在学期間内に博士学位が取得しやすいように仕込まれていることである。</p> <p>女子教育の長い伝統を有する本学は、女性研究者、女性リーダーの育成のため以下のような中期目標を掲げている。(1)女性研究者・女性のリーダー育成のための体制整備、(2)COEを含む研究拠点の構築と支援、(3)地域社会への貢献と国際交流、(4)女性のライフスタイルにあった生涯教育の推進、等。</p> <p>本事業は、この中期目標の下、「発達」と「環境」間のコラボレーションを可能にし、さらに、女性の社会貢献の場を広げるための教育プログラムの策定を目的とする。中期目標との関連では、①現在進行中の大学院改組計画によって、領域間の融合が促進され、女性研究者の育成のための体制整備が既に行われており、②21世紀COE「誕生から死までの人間発達科学」の拠点形成により、人間発達に関する基盤整備がなされている。これらを踏まえて、③地域連携による社会環境問題への取り組みと貢献、さらにアジア諸国の留学生支援を実行し、④発達と環境といった、人間の生涯に関わる教育プログラムを推進する。</p> <p>本事業は、国費で措置される女子大学として本学大学院が果たすべき役割の根幹に位置すると考えている。</p>			

機 関 名	お茶の水女子大学	整理番号	d003
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(これまでの改善点と、今後の課題について)</p> <p>人間発達科学専攻では、大学に限らず、他の多くの研究機関、教育機関、行政機関など、多様な分野に、これまで多くの優れた女性リーダーを送り出してきた。その教育・研究の集結として、平成14年、21世紀COE「誕生から死までの人間発達科学」の拠点形成が認められた。</p> <p>21世紀COEでは、教育研究プログラムとして、①プロジェクト参加型による研究能力の育成、②海外研修の支援、③公募型研究支援、④RA採用による経済的基盤の提供と研究支援、等が行われてきたが、研究主体であること、指導教員個別の管理下にあったこと、学位取得までのプロセス管理が明瞭でないこと、留学生への教育支援が脆弱であること、などが課題としてあげられる。このCOEプログラムは、18年度で終了となる。</p> <p>また、IT環境の進展やグローバル社会の浸透など、社会環境、生活環境が大きく変革する現代において、そのコンテキストの中で人間発達を捉える教育プログラムの見直しが急務であると考えられる。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(5-(2)を踏まえた大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組、発展的展開のための計画、及びこの取組によって改善が期待される点について)</p> <p>本事業は、上記の課題を踏まえ、次の2本の教育プログラムを核として、大学院教育の実質化に取り組む。</p> <p>1) 発達環境科学教育プログラム</p> <p>・領域横断的な専門科目</p> <p>「発達環境科学基礎論」、「発達環境科学教育実習」、「発達環境科学演習」を新設し、発達科学と環境科学との協同知、融合知を備えた、人間発達科学を専門とする女性人材を育成する。</p> <p>・アジア留学生ネットワーク</p> <p>近年、アジア諸国で勃発している環境問題や災害等は、心の発達に大きな影を落としている。従って、アジア諸国では、心の発達を主体とした人間発達を環境といった視点から捉える人材の育成が急務である。本事業を核として、アジア留学生ネットワークを形成することで、アジア諸国の問題を共有し、国際交流、国際貢献に努める。</p> <p>・RAを活用する教育実習プログラム</p> <p>発達、環境を専門とするRA(リサーチアシスタント)を採用して、自ら設定する発達・環境の基本テーマごとに教育実習プログラムを実施し、研究と教育を統合する能力を育成する。</p> <p>2) 教育プロセス基盤強化プログラム</p> <p>・博士学位取得ポイント制(ステージ制):教育ステージ、研究ステージ</p> <p>学位論文提出資格のための客観的指標を提供する。教育ステージでは、コースワーク、知識確認のための試験、インターンシップなどをポイント化し、資格認定を行う。研究ステージも同様である。</p> <p>・6年制アカデミックトラック</p> <p>学部4年次以降、大学院5年間の教育プロセスを一体化し、基礎・理論・発展・先端といった高度専門職プログラムの展開が可能なプログラムを実施する。</p> <p>以上の教育プログラムの下、大学院教育の実質化をすすめ、多様な人材を育成し、多様なキャリアパスを実現する計画である。</p>			

6. 履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

ユニバーサルマインドをもつ女性人材の育成



<審査結果の概要及び採択理由>

「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化(教育の課程の組織的な展開の強化)を推進することを目的としています。

本事業の趣旨に照らし、

①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか

②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか

の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に十分適合しており、その実現性も高く、一定の成果と今後の展開も十分期待できると判断され、採択となりました。

なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。

[特に優れた点、改善を要する点等]

・環境と発達をキーワードとした、特色あるユニークで有望なプログラムであり、特に以下の点が評価できる。

- (1) 現在ある具体的な問題(キャリアパスが狭い、留学生の支援が少ない)の解決を目指すプログラムであること。
- (2) 発達環境科学を中心に、国際専門職、研究職リーダー、生活環境コーディネーター、福祉施設や教育施設の設計、運営、経営に携わることのできる研究者、高度職業人など、多様な人材を育成しようとしていること。
- (3) ステージ制、ポイント制、アカデミックトラックを明示し、体系的な教育課程、教育研究指導体制、運営・支援体制を構築しようとしていること。